

- 単元目標**
- ・積極的に自分の1日を紹介したり、友達の1日を聞き取ったりしようとする。
  - ・生活を表す表現や、1日の生活についての時刻を尋ねる表現に慣れ親しむ。
  - ・世界には時差があることに気づき、世界の様子に興味をもつ。

- 単元評価規準**
- ・相手に伝わるように工夫して自分の1日を紹介している。
  - ・1日の生活の時刻を尋ねたり言ったりしている。
  - ・世界には時差があることや、世界はつながっていることに気付いている。

**表現** I get up at seven. What time do you get up?  
get up, go to school/bed

## 単元計画（5時間）

時	目標と主な活動	評価			
		コ	慣	気	
1	<p>動作や時刻の言い方を知る。</p> <p>【P 1】「ナンバーゲーム」1～60の数を言う。 ○「何時か当てよう。」指導者が両腕で示す時刻を答える。</p> <p>【L 1】「時計に針や数字を書こう。」時刻を聞き取って、時計に数字や針を書き込む。 ○「ジェスチャーゲーム」指導者のする動作を言い当てる。</p> <p>【P 2】「おはじきゲーム」動作を表す表現を聞いてゲームをする。</p> <p>【C】“What time do you get up?”</p>				本時は、原則として評価結果は記録しないが、目標に向けての指導はする。
2	<p>動作や時刻の言い方に慣れ親しむとともに、生活を表す表現やその時刻を尋ねる表現を知る。</p> <p>【P 1】「ナンバーゲーム」1～60の数を言う。 ○「メモリーゲーム」動作を表す表現を聞いて、ゲームをする。</p> <p>【L 2】「( )に時刻を書いて、さくらとあなたの一日を比べよう。」音声教材を聞いて、時刻を( )に書く。 【A 1】「先生の一日を予想して、インタビューしよう。」指導者の起床、登校、就寝の時刻を予想して書き、実際の時刻を尋ねて回答を書く。</p> <p>【C】“What time do you get up?”</p>		○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動作や時刻を聞いている。〈行動観察・誌面点検・振り返りカード点検〉</li> <li>・動作や時刻を聞いている。〈行動観察・誌面点検・振り返りカード点検〉</li> </ul>
3	<p>生活を表す表現やその時刻を尋ねる表現に慣れ親しむ。</p> <p>【P 1】「ナンバーゲーム」1～60の数を言う。 【C】“What time do you get up?”</p> <p>【L 3】「世界の時刻を四角に書こう。」日本が午前8時のときに、他の国は何時かを聞きとり、絵の下に時刻を書き込む。 ○「ステレオゲーム」</p>		○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活を表す表現や時刻を聞いている。〈行動観察・誌面点検・振り返りカード点検〉</li> <li>・生活の時刻を尋ねたり言ったりしている。〈行動観察・振り返りカード点検〉</li> </ul>
4	<p>生活を表す表現やその時刻を尋ねる表現に慣れ親しむ。</p> <p>【C】“What time do you get up?” ○「チェーンゲーム」</p> <p>○「友達の生活の時刻を知ろう。」教室を自由に動いて、友達に生活の時刻を尋ね合って記録し発表する。</p> <p>○「ニューヨークの生活と比べよう。」</p>		○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活の時刻を尋ねたり言ったりしている。〈行動観察・ワークシート点検・振り返りカード点検〉</li> <li>・生活の時刻を尋ねたり言ったりしている。〈行動観察・ワークシート点検・振り返りカード点検〉</li> </ul>
5	<p>時差があることに気付くとともに、相手に伝わるように工夫して自分の生活を紹介しようとする。</p> <p>【C】“What time do you get up?” 【A 2】日課表に自分の生活時刻を書き込み、ペアになって、生活の時刻を尋ね合い、お気に入りの日課と時刻を教え合う。 ○「自分の1日と外国の時刻をつなげよう。」</p>	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手に伝わるように工夫して自分の1日を紹介している。〈行動観察・振り返りカード点検〉</li> <li>・相手に伝わるように工夫して自分の1日を紹介している。〈行動観察・振り返りカード点検〉</li> <li>・世界には時差があることや、世界はつながっていることに気付いている。〈行動観察・振り返りカード分析〉</li> </ul>

<p>2-Lesson 6 What time do you get up? 1/5 時間</p> <p>目 標 動作や時刻の言い方を知る。</p> <p>準 備 教師用絵カード (動作), デジタル教材, (振り返りカード), おはじき</p>
---

児童の活動	指導者の活動	準備物
<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。</li> </ul>	
<p><b>【Let's Play 1】 p. 22</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ナンバーゲームをする。1～60 を全員で言う。音声教材で、言い方を確認し、再度全員で言う。</li> <li>・1人ずつ1～60の数を言っていく。</li> <li>・自分の数字が3の倍数の場合は、言わずに、手をたたくなどする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者も一緒に、1～60を言う。音声教材で、誌面 p. 22 の周りの数字を見ながら1～60の数の言い方を確認し、再度指導者も一緒に言う。</li> <li>・1人ずつ順に1～60の数字を1つずつ言わせる。</li> <li>・慣れてきたら、自分の数字が3の倍数であれば、手をたたくなどさせる。</li> </ul>	デジタル教材
<ul style="list-style-type: none"> <li>○「何時か当てよう。」</li> <li>・指導者が両腕で示す時刻を答える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両腕を時計の針に見立てて時刻を示し <b>What time is it?</b> と尋ねる。</li> <li>・時刻は、「1～12時」で表せるものにする。慣れてきたら、「30分」を入れる。</li> </ul>	
<p><b>【Let's Listen 1】 p. 22</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時刻を聞き取って、時計に数字や針を書き込む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時刻の音声を聞かせ誌 p. 22 の時計に時刻を書き込ませる。</li> <li>・時刻を尋ねるやり取りで答え合わせをする。</li> </ul>	デジタル教材
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ジェスチャーゲームをする。 (指導書 <b>Hi, friends!</b> 2 p. 30 参照)</li> <li>・動作の言い方を知る。</li> <li>・指導者がするジェスチャーを見て、動作を英語で言って当てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まず、生活の様子を動作で表わしながら、動作の言い方を紹介する。</li> <li>・生活の様子を動作であらわし、それが何か尋ねる。</li> </ul>	教師用絵カード (動作)
<p><b>【Let's Play 2】 p. 22</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誌面 p. 22 の動作の絵から5つ選び、おはじきを置く。音声教材 (指導者) が言う動作の絵におはじきを置いていたら取る。早くおはじきがなくなったら勝ちとなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音声教材で、生活を表す表現を聞かせる。</li> </ul>	教師用絵カード (動作) おはじき デジタル教材
<p><b>【Let's Chant】 “What time do you get up?” p. 24</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音声教材を聞きながら言う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音声を聞かせながら一緒に言う。</li> </ul>	デジタル教材
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の活動をふり返る。振り返りカードに記入する。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の英語を使おうとする態度などでよかったところをほめる。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	振り返りカード

評価規準

原則として、評価結果は記録しない。

<p>2-Lesson 6 What time do you get up? 2/5時間</p> <p>目 標 動作や時刻の言い方に慣れ親しむとともに、生活を表す表現やその時刻を尋ねる表現を知る。</p> <p>準 備 教師用絵カード (動作), デジタル教材, (振り返りカード), 巻末児童用絵カード (動作)</p>
---

児童の活動	指導者の活動	準備物
・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
<p>【Let's Play 1】 p.22</p> <p>・ナンバーゲームをする。1～60を全員で言う。</p> <p>・1人ずつ1～60の数を言っていく。</p> <p>・自分の数字が3や5の倍数の場合は、言わずに、手をたたくなどする。</p>	<p>・誌面 p. 22 の周りの数字を見ながら1～60の数を一緒に言う。</p> <p>・1人ずつ順に1～60の数字を1つずつ言わせる。</p> <p>・慣れてきたら、自分の数字が3や5の倍数であれば、手をたたくなどさせる。</p>	デジタル教材
<p>○メモリーゲームをする。 (指導書 Hi, friends! 2 p. 30 参照)</p> <p>・各グループで、巻末児童用絵カード1組を用意する。</p>	<p>・各グループに、巻末児童用絵カード1組を用意させ、ゲームをする。</p> <p>・誌面 p. 22 の動作の絵から選んで、I get up at 6:00. などと生活の表現を4～8文言う。</p> <p>・各グループが巻末児童用絵カードを並べ終わるのを確認してから、生活の表現をみんなで言って答えを確認する。</p>	<p>教師用絵カード (動作)</p> <p>巻末児童用絵カード (動作)</p>
<p>【Let's Listen 2】 p. 23</p> <p>・音声教材を聞いて、さくらの生活時刻を( )に書く。</p>	<p>・誌面の絵のさくらの動作を確認する。</p> <p>・音声教材を聞かせ、( )に起床・登校・就寝の時刻を書かせる。</p> <p>・What time do you get up/go to school/go to bed? などと尋ねて各自の生活と比較させる。 ※評価</p>	デジタル教材
<p>【Activity 1】 p. 23</p> <p>・先生の起床、登校、就寝の時刻を予想して表に書き、実際の時刻を尋ねてその回答を表に書く。</p>	<p>・起床・登校・就寝の時刻の尋ね方を音声教材で確認する。</p> <p>・予想を書かせた後、児童の What time do you ～? の問いに答える。</p> <p>・Let's listen 2 のさくらの時刻と比較する。</p> <p>・他の日課についても紹介する。 ※評価</p>	デジタル教材
<p>【Let's Chant】 “What time do you get up?” p. 24</p> <p>・音声教材を聞きながら言う。</p>	・音声教材を聞かせながら一緒に言う。	デジタル教材
<p>・本時の活動をふり返る。振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・児童の英語を使おうとする態度などでよかったところをほめる。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

評価規準

- ・動作や時刻を聞いている。【慣】 <行動観察・誌面点検・振り返りカード点検>

<p>2-Lesson 6 What time do you get up? 3/5 時間</p> <p>目 標 生活を表す表現やその時刻を尋ねる表現に慣れ親しむ。</p> <p>準 備 教師用絵カード (動作), デジタル教材, (振り返りカード)</p>
---

児童の活動	指導者の活動	準備物
<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。</li> </ul>	
<p><b>【Let's Play 1】 p.22</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ナンバーゲームをする。1～60 を全員で言う。</li> <li>・1人ずつ1～60 の数を言っていく。</li> <li>・自分の数字が3や5の倍数の場合は、言わずに、手をたたくなどする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誌, p. 22 の周りの数字を見ながら1～60 の数を一緒に言う。</li> <li>・1人ずつ順に1～60 の数字を1つずつ言わせる。</li> <li>・慣れてきたら、自分の数字が3や5の倍数であれば、手をたたくなどさせる。</li> </ul>	
<p><b>【Let's Chant】 “What time do you get up?”</b> p. 24</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音声教材を聞きながら言う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音声教材を聞かせながら一緒に言う。</li> <li>・動作や時刻を替えて言わせる。</li> </ul>	デジタル教材
<p><b>【Let's Listen 3】 p. 24, 25</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本 (東京), 中国 (北京), アメリカ (ニューヨーク), オーストラリア (シドニー), ロシア (モスクワ), イギリス (ロンドン), ブラジル (サンパウロ) について, 日本が午前8時のときに, 何時か聞き取り, 都市と絵を線で結び, 時刻を書き込む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図上の都市がどこか確認させる。番号順に音声教材を聞かせて, 都市と絵を線で結ばせ, 時刻を書き込ませる。</li> <li>・音声教材の時刻は, 東京が午前8時のときの時刻であることを確認する。</li> <li>・実態に応じて, 番号順ではなく順不同に聞かせる。</li> <li>・誌面 p. 24, 25 の地図上の日付変更線や, 世界の時差について簡単に触れ, 世界には時差があることについての気付きを促す。 ※評価①</li> </ul>	デジタル教材
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ステレオゲームをする。 (指導編 Hi, friends! 2 p. 17 参照)</li> <li>・誰が何時に起床・登校・就寝するか聞き取る。</li> <li>・指導者と一緒に, 代表児童に What time do you get up/go to school/go to bed? と尋ねる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起床・登校・就寝の動作のどれを扱うかを確認してから, 代表児童に What time do you get up/go to school/go to bed? で時刻を尋ねる。</li> <li>・慣れてきたら, ほかの児童にも一緒に尋ねさせる。 ※評価②</li> </ul>	教師用絵カード (動作)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の活動をふり返る。振り返りカードに記入する。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の英語を使おうとする態度などでよかったところをほめる。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	振り返りカード

評価規準

- ①生活を表す表現や時刻を聞いている。【慣】 <行動観察・誌面点検・振り返りカード点検>
- ②生活の時刻を尋ねたり言ったりしている。【慣】 <行動観察・振り返りカード点検>

<p>2-Lesson 6 What time do you get up? 4/5 時間</p> <p>目 標 生活を表す表現やその時刻を尋ねる表現に慣れ親しむ。</p> <p>準 備 ワークシート⑥-1・2 (インタビューシート1・2), デジタル教材, (振り返りカード)</p>
---

児童の活動	指導者の活動	準備物
<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。</li> </ul>	
<p>【Let's Chant】“What time do you get up?” p. 24</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・音声教材を聞きながら言う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音声教材を聞かせながら一緒に言う。</li> <li>・動作や時刻を替えて言わせる。</li> </ul>	デジタル教材
<ul style="list-style-type: none"> <li>○チェーンゲームをする。 (指導編 Hi, friends! 2 p. 33 参照)</li> <li>・グループで1列になり、ゲームをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表児童とデモンストレーションなどをして、ゲームのやり方を理解させる。</li> <li>・What time do you get up/go to bed?, I get up/go to bed at ~. とやり取りさせ、列の最後尾の児童に、At seven, six, seven, seven. I get up/go to bed at ~. などと、全員の答えも含めて自分の答えを言わせる。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○「友だちの生活の時刻を知ろう。」</li> <li>・教室内を自由に動いて、3人の友達に生活の時刻を尋ね合ってワークシートに記録する。</li> <li>・自分が聞き取った中で早起きの友達などを発表し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起床・夕食・朝食についてその時刻を尋ね合いワークシートに記入させる。</li> <li>・慣れてきたら、起床・夕食・朝食以外の時刻も尋ね合わせたりする。</li> <li>・尋ね合う人数は、実態や時間に合わせて調節する。</li> </ul> <p style="text-align: right;">※評価</p>	ワークシート⑥-1 (インタビューシート1)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○「ニューヨークの生活と比べよう。」</li> <li>・指導者に1日の生活の時刻を尋ね、答えをワークシートの「日本」の欄に書く。</li> <li>・さらに同じ時のニューヨークの時刻を書く。また、その時刻に指導者がニューヨークにいたら何をしているか考えて発表し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに描かれている動作の時刻を尋ねさせ、自分の1日の生活について答える。</li> <li>・日本とニューヨークの時差を確認する。実際はニューヨークの時刻が14時間遅れているが、計算するときは10時間足すとよいことに気付かせ、指導者の1日の生活時刻と同じ時のニューヨークの時刻を「ニューヨーク」の欄に書かせる。</li> <li>・時刻についてのやり取りをしながら答え合わせをする。</li> <li>・同じ時刻に、もし指導者がニューヨークにいたら何をしているか考えさせる。</li> </ul> <p style="text-align: right;">※評価</p>	ワークシート⑥-2 (インタビューシート2)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の活動をふり返る。振り返りカードに記入する。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の気付きや、英語を使おうとする態度などでよかったところをほめる。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	振り返りカード

評価規準

- ・生活の時刻を尋ねたり言ったりしている。【慣】 <行動観察・ワークシート点検・振り返りカード点検>

2-Lesson 6 What time do you get up? 5/5 時間

目 標 時差があることに気付くとともに、相手に伝わるように工夫して自分の生活を紹介しようとする。

準 備 ワークシート⑦ (一日の生活紹介シート), デジタル教材, (振り返りカード)

児童の活動	指導者の活動	準備物
・挨拶をする。	・全体に挨拶をし、個別に数名の児童に挨拶をする。	
<p><b>【Let's Chant】</b>“What time do you get up?” p.24</p> <p>・音声教材を聞きながら言う。</p>	<p>・音声を聞かせながら一緒に言う。</p> <p>・慣れてきたら動作や時刻を替えて言う。</p>	デジタル教材
<p><b>【Activity 2】</b> p. 25</p> <p>・誌面の日課表に自分の生活時刻を書き込む。</p> <p>・空欄には, get up と, go to school, go to bed のほかに, お気に入りの日課を1つ, 文字や絵でかき込む。</p> <p>・ペアなどになって起床, 登校, 就寝の時刻を尋ね合い, お気に入りの日課と時刻を教える。</p>	<p>・ペアを替えたり, グループで聞き合ったりするなど, 実態に応じた形態で行う。</p> <p>・「お気に入りの日課」は英語で表現することが難しい場合は, 日本語で紹介させる。</p> <p>・自分の日課の時刻に合わせて海外都市の時刻を書かせることで, 時差を身近に感じさせるようにする。 ※評価②</p>	
<p>○「自分の1日と外国の時刻をつなげよう。」</p> <p>・ワークシートに, 起床と就寝のほかに2つ, お気に入りの日課や, 自分で選んだ日課を空欄に絵や文字でかく。</p> <p>・日課について時刻をすべて書く。</p> <p>・「日本の ( )」には, 自分たちの住んでいるところの地名を書く。</p> <p>・誌面 p. 24, 25 の見開き世界地図を参考にして, 自分が選んだ海外の国名と都市名を, ワークシート「~ ( )」に書き, その地の時刻も書いて自分の日課とリンクさせる。</p> <p>・生活表を見せながら, グループの中で自分の1日について紹介し, グループの代表が, 前で発表する。</p>	<p>・「お気に入りの日課」は英語で言うことが難しい場合は, 日本語で紹介させる。</p> <p>・可能なら, 海外の地名を隠して時差からどこかを推測して当てさせる。 ※評価①②</p>	ワークシート⑦ (一日の生活紹介シート)
<p>・本時の活動をふり返る。振り返りカードに記入する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・児童の英語を使おうとする態度などでよかったところをほめる。</p> <p>・挨拶をする。</p>	振り返りカード

評価規準

①世界には時差があることや, 世界はつながっていることに気付いている。【気】 <行動観察・振り返りカード分析>

②相手に伝わるように工夫して自分の1日を紹介している。【こ】 <行動観察・振り返りカード点検>